

2022 年度 「須磨区自立支援協議会」の活動について

須磨区自立支援協議会では、「須磨区のまちづくり 2025 の将来像」計画のテーマの一つである「誰もが安心して暮らせる、ふれあいのまちづくり」の推進に向けて、年齢や障がいに関わらず、住み慣れた地域でともに支えあいながら安心して暮らせることを主眼に、①就労支援、②自主製品の販路の拡大、③支援者の資質向上と障がいの啓発活動、④災害時の要援護者支援、⑤子育て支援、⑥相談支援、の6つのテーマを各作業部会で掲げ、取り組んでいます。

2022 年度上半期は昨年度に引き続きコロナ禍のため活動も一定制限せざるを得ませんでした。下半期はこれまでのような緊急事態宣言や蔓延防止措置などによる厳しい感染対策が緩和され、定例会も対面開催が通常となりました。神戸市内でも感染対策を講じながら各種イベントが再開されるようになり、当協議会においても、11月に「てづくり広場 すましあ」を3年振りに開催できました。毎月区役所玄関前で行っている「Sumarché (すまるしえ)」では、これまで実施を見合わせてきた冬期の開催場所を区役所2階エレベーターホールとし、以前のように通年開催となるよう工夫しました。生活協同組合コープこうべとの連携による「CO・OP×Sumarché (コープ×すまるしえ)」は、徐々に定期開催がコープ各協力店舗への来客の方にも定着してきております。

また、作業部会の取り組みを区民の方に広く知っていただくため、行政の広報紙(広報こうべ須磨区版)や須磨区公式 Facebook への掲載などを継続的に行っております。これらの積極的な広報活動により、当協議会の活動はもとより、協議会構成員のメンバー一人ひとりが、それぞれの目標に向かって活動している場があることを多くの区民に知っていただくことができたのではないかと考えます。

障がい福祉に携わる事業所は年々増え続けるとともに、当協議会へ加盟する事業所も多くなってまいりました。今後は with コロナを意識しながらも、各種活動をより一層活発に実施し、私たちの取り組みを地域の皆さんに知っていただき、地域とつながることで、「ともに地域で元気に安心して暮らせるまち」の実現に近づけていきたいと考えています。

